

- 2/3 情勢 承認取り消し
- 承認手続きの法的瑕疵
- 4/5 2万人の国会包囲行動
- 二見以北住民の会が政府交渉
- 6/7 出張授業「おきなわカフェ」
- コラム「龍宮神の祟り(2)」
- わんさか通信★ジュゴンのわ

9月14日、翁長知事の埋立承認取消表明を断固支持し作業の再開を阻止すべく工事用ゲートからの工事関連車両の進入を止めるため、早朝から多くの県民がゲート前に結集した。8月10日からの作業の中断期間（1か月の政府と県との集中協議期間）が終了する9月10日午前0時から、24時間監視体制の強化と未明からの県民の結集。この日も午前6時過ぎには約100名が集まり、工事用ゲートが開く午前7時には200名近くの県民が座り込んだ。防衛局はゲートを開くことが出来ない。

午前10時、翁長知事の表明が流れるとゲート前に歓声があがった。同時にやっと出た取り消し表明であるが、翁長知事はこの間も毅然と政府に立ち向かい政治生命をかけて決断をした。今度は、この知事を生み出した私たちが全力で、この取り消し表明を現場で支えていかなければならない。私たちがより一層の覚悟をとの発言が続く。

「埋立承認取消し表明」を支える ゲート前の座り込み

昨年7月から始めたキャンプシュワブゲート前の座り込み行動。様々な経験、経歴等を持つ参加者の発言内容等には多くの学びがある。いつしかゲート前は「辺野古総合大学」と言われ出した。

1ヶ月間の作業中断期間、ゲート前の監視と抗議行動を継続するとともにさらにたたかひの足腰を鍛える期間と位置付けた。「辺野古総合大学・夏季集中講座～学習講演会&コンサート」の開講である。桜井国俊沖大名誉教授（検証第三者委員会委員）による「辺野古埋立承認の問題点」と題する講演を皮切りに「過去に学ぶシリーズ」・「国頭村伊部岳の米軍射撃訓練場阻止の闘い」「恩納村都市型訓練場阻止の闘い」「沖縄アルミ進出反対からCTS建設反対の闘い」の報告がそれぞれ当時たたかひを担われた方々から生の話として語られ、サンゴの専門家安部真理子さんによる「人類の宝・大浦湾」の話などいずれの話も闘いへの確信を深めるに余りあるものであった。そして、歌って踊ってが信条のゲート前の闘い。もちろん、SDCC代表海勢頭豊さんによる、たっぷり1時間のライブも。

「贅沢すぎる」とも言われたカリキュラムには多くの県民が参加。取り消し後の闘いを準備するものであった。（沖縄 高垣喜三）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



ゲート前の「辺野古総合大学」でコンサートをする海勢頭代表ら。（巻頭言関連）



止めよう！ 辺野古埋立て9.12国会包囲（4&5面）

情勢

承認取り消しを支持し、埋め立て阻止の世論を高めよう！

9月14日、翁長知事は埋め立て承認の取り消し手続きに入りました。県第三者委員会の報告(「桜井国俊講演」を参照)をもとに「承認に瑕疵(かし)あり」と沖縄防衛局に意見聴取の日程を通知しました。17日、沖縄防衛局は「これ以上説明することはない」と意見聴取を拒否、18日、菅官房長官は「行政手続法にのっとり、(私人扱いとして)聴聞すべきだ」としています。私人扱いとなれば、行政不服審査法で所管庁の国交大臣が「(沖縄県の)承認取り消しを執行停止」と決定し、沖縄県はその決定を不服として裁判で争うことができないからです。不当な行政処分にも異議申し立てする国民の権利を、政府が利用することは全く異常です。軍事基地の建設を民間人ができるのでしょうか。翁長知事が国連人権委員会から帰国後の25日、埋め立て承認を取り消し、工事中止を要求します。しかし、政府は取り消し命令の執行停止を求め争いながら、埋め立て工事を進めるとしています。辺野古での海底ボーリング調査が残り5か所。すでに、沖縄防衛局は埋め立て工事の拠点としての護岸工事を準備しています。



辺野古での闘いを軸に、翁長県知事、稲嶺名護市長を支える国内外の世論をつくることが重要です。9月16日SDCCは沖縄防衛局交渉で、“埋め立ての実施設案が環境監視等委員会で議論していないので、再提出すべき”と批判しました(「交渉報告」を参照)。沖縄防衛局は自らが作った環境保全措置すら守っていないのです。承認の留意事項違反です。また、辺野古ダムやキャンプシュワブの土砂の採取・搬出や、埋め立て仮設道路の設計変更などには沖縄県や名護市の許可が必要です。簡単には埋め立て工事は進みません。9月12日、辺野古埋め立て阻止の国会包囲行動が2万2千人の参加で成功しました。9月16日、米国カリフォルニア州バークレー市議会で辺野古新基地建設反対、米国に再考を促す「沖縄の人々を支援する決議」が満場一致で採択されました。9月21、22日には国連人権理事会で翁長知事が世界にアピールします。辺野古埋め立て阻止が大きな流れになっています。埋め立て阻止の署名などで、もう一回り世論を広げましょう。



9/12 にボーリング調査が再開され、厳しい座り込みが続く、シュワブゲート前 09 2015



9/10 沖縄県交渉

辺野古新基地建設問題対策課長へ要請書を手渡しました



9/9 辺野古総合大学最終日 元宜野湾市長の伊波洋一さんの講義が行われました



9/16 沖縄防衛局交渉

09 16 2015

「承認の取り消しを、それが法治主義」桜井国俊講演会

8月26日、参議院議員会館で、桜井国俊・沖縄大学名誉教授の講演会「海は誰のものか～辺野古埋め立て承認の問題点」がありました。主催は「辺野古・高江を守ろう！NGOネットワーク」。参加者は200人。

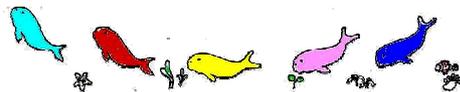
桜井さんは「7月に第三者委員会が『埋め立て承認手続きに瑕疵（かし）あり』と報告書を提出したのだから、知事はその結果をまず尊重するべきだ。9月中旬に翁長知事は国連人権委員会に出席する予定だが、それまでに埋め立て承認の取り消し命令を出すべきだ。それが、法治主義だ」と明快に結論付けました。

承認手続きの法的瑕疵として「埋め立て願書の中の埋め立て必要性について、普天間の危険性除去の必要性については述べられているが、移設先が沖縄県内であること、辺野古地先でなければならないことについて合理的な説明がない。森本元防衛大臣が、移設先が辺野古でなければならないことの軍事的必然性を否定している。だから、「埋め立ての必要性」の要件を充足していない」。また、公有水面埋立法第4条第1項の免許基準の1号から3号まで満たしていないと批判しました。

最後に、桜井さんは「第三者委員会報告を執筆者の一人として、わかりやすく多くの県民や国民に伝え、闘いに確信をもつてもらうことが自らの役割だ」とし、今日の講演内容を広く伝えることを求めました。

*講演会に先立って、「辺野古・高江を守ろう！NGOネットワーク」の設立集会が開かれました。参加団体はSDCC、FoE、ラムサール・ネットワーク、グリーンピース、ピースボート、環境市民、沖縄・生物多様性ネットなど14団体

（事務局 蜷川義章）



県&防衛局交渉

承認取り消しを沖縄県に要請 & 工事断念を求めた沖縄防衛局交渉

9月10日沖縄県交渉では県第三者委員会報告書に基づいて、速やかに埋め立て承認取り消し手続きに入ることを要請しました。21日から翁長知事が国連人権理事会に参加するうえで、承認取り消しの姿勢を世界にアピールすることが必要だったからです。また、辺野古現地で座り込む市民、県民の闘いを支えるために、名護市との連携をふまえて、関係各課が自らの権限で工事再開を止める取り組みに全力を挙げることが求めました。この間の多くの市民や関係団体の要請をふまえて、14日に翁長知事は埋め立て承認取り消し手続きに入ることを沖縄防衛局に通知し、辺野古現地には県職員を毎日2名、派遣しています。

9月16日沖縄防衛局交渉では、沖縄県の承認取り消し手続の通知をふまえて海底ボーリング調査などの中止を求めました。工事を急ぐ沖縄防衛局は11日、14日と沖縄県に埋め立ての実施設計案の事前協議を県海岸防災課に求めています。県が事前協議に応じなければ一方的に工事を着手することが狙いなのです。沖縄防衛局交渉で、この実施設計案は環境監視等委員会で議論していないことを認めさせ、承認書の留意事項の違反であることや自らが作成した環境影響評価書(補正)を無視していることなどを追求しました。私たちの批判で、沖縄防衛局と環境監視等委員会との矛盾がさらに出てくるに違いありません。沖縄防衛局交渉の概略を沖縄県海岸防災課に説明し、今後の事前協議に対応することを求め激励しました。

止めよう！ 辺野古埋立て9.12国会包囲

9月12日（土）、米軍普天間基地の辺野古への移設に反対する第3回国会包囲行動が実施されました。真夏のような暑さの中、初回の3倍の2万2千人が結集しました。

SDCCも5名のカンパ係と、2名の誘導係が集会の役割を担いました。そして、国会正門前のステージ近くでは、関西から駆け付けたメンバーや首都圏各地からのメンバーがSDCCのブルーのTシャツとジュゴン帽子で集い、久しぶりの再会を喜び合いながら、思い切り政府・防衛省への抗議の声を挙げました。また、紅型のぼり旗を立て、ジュゴンをあしらったバナー3枚を掲げて、「沖縄を返せ」や、「座り込めここへ」を、多くの仲間と歌いました。

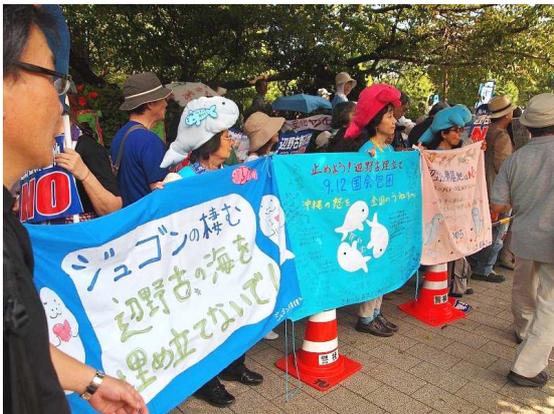
集会のために上京した島ぐるみ会議の玉城義和さんは「知事は国連の人権委員会で演説する。県民は諦めない。辺野古の海はますます人が増えている。火の玉となって知事を支援する。安保法制のたたかいと、辺野古のたたかいは根源的に一つ



のもの」と力説。ヘリ基地反対協議会の安次富浩さんは、「沖縄に基地を押し付けるのは構造的差別だ」と、政府を厳しく批判しました。

ルポライターの鎌田慧さんはじめ壇上の多くのスピーカーが語ったことは「我々は沖縄に無関心だった。今の沖縄の状態は我々の無関心が生み出した」という反省が特徴的でした。だからこそ、その日からの辺野古での作業再開の報に、やりきれなさ、腹立たしさ、悔しさ、憤り、怒り、そんな思いが充満して、皆さんのスピーチも力が入って、翁長知事を全力で支援していく決意を新たにしていました。民意を無視する政府のやり方は、民主主義を無視しています。私たちは、諦めることなく「辺野古新基地反対」を叫び続け、ジュゴンの棲む海を守っていきましょう。

（首都圏 宮城韶子）



注目を集めたSDCCのバナー



シールズ琉球の若者のアピール



9月は街頭行動強化月間♪

～広めようジュゴンのこと～

翁長知事が埋め立て承認の取り消しを表明しているのに辺野古の作業が強行されている。おかしくない？ほんとうにこれでいいの？多くの人に事実を知って、考えてほしい。そのためにできること、新聞記事を貼りだし、街頭で語りかけています。沖縄に基地の負担を押し付けたままでいいの？新しい基地を造っていいの？NOの声が多数派になれば、止められる。NOの声を大きくするためにがんばります。



通りがかった人が飛び入りで三線演奏♪ 一気ににぎやかになりました。

毎月一度続けている街頭行動。9月は2度行いました。これからもがんばります☆

大阪アクション

「大阪アクション1周年～海上保安庁交渉取り組む」

8月23日に、SDCCも呼びかけ団体に参加している「Stop!辺野古新基地建設！大阪アクション」の結成一周年の集いをしました。講師に沖縄国際大学の前泊博盛さんを招き「辺野古の一年とこれから」という題でお話しを聞きました。「辺野古の基地建設を止めているのは住民の運動。それがぶれなければ知事は取り消しに進む」「ジャパンハンドラーと言われている人たちのワシントンでの影響は意外と小さい。辺野古基金を使ってアメリカのシンクタンクに基地削減の政策提言を作り、それを元にワシントンで沖縄県としてのロビー活動を行ってはどうか」「嘉手納の滑走路一本返せ、ぐらい要求して当然。三沢基地も軍民共用空港」など、対米追従の日本政府を皮肉りながらの、刺激的なお話しでした。



お話しの後、大阪アクションの活動方針を提起しました。SDCCからは海上保安庁への要請行動について報告しました。

この報告をふまえ、9月7日に福島瑞穂議員の仲介にて、大阪アクションから3名が上京し、海上保安庁(本庁)への要請行動を行いました。海上保安庁が辺野古の現場の状況をよく把握しており、だからこそ海上保安官の暴力の事実確認と社会的批判を怖れていることが明らかになりました。

今後も大阪アクションの仲間との共同の行動を強めていきます。(関西 松島洋介)



会場は立ち見が出るほど、いっぱいの人で埋まりました。

「名護市二見以北住民の会が上京行動」

7月30日、二見以北住民の会(以下、「住民の会」)が衆議院議員会館で、沖縄選出国議員5人(うりずんの会)の同席で、国連環境計画アジア太平洋事務所代表の返信書簡について環境省、外務省、防衛省の見解を求め、新基地建設中止を訴えました。「住民の会」は今年3月に国連・環境計画事務局宛に「美しいサンゴやジュゴンのすむ海を埋め立て、自然豊かな地域を破壊しています」と訴え、4月に国連環境計画・アジア太平洋地域事務所代表から「我々は適切な方法で皆さんの懸念を日本の環境省との間で分け合って対処します」「皆さんが…関係省庁に直接働きかけるといいでしょう」との返信が届いたからです。

前日の7月29日、「住民の会」は沖縄一坪反戦地主会関東ブロックの緊急集会で交流。上京した6人がそれぞれ基地建設中止にかける思いを語りました。とりわけ松田藤子会長からは「本土の平和は

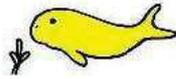
沖縄の忍従と、憲法9条があったからこそであり」「辺野古の闘いは真の民主主義を実現するものです」と、国会での戦争法案審議を取り上げてのアピールがありました。(事務局 蜷川義章)



要請書を手渡す松田藤子会長



報告



7月25日『イルカ with Friends』コンサートに参加して

7月25日(土)山梨県河口湖ステラシアターで、イルカコンサート「イルカ with Friends Vol.11」が行われ、数年ぶりにブース参加しました。イルカさんから「久しぶりね。いつもお知らせ有難う」と声をかけてくださり感激しました。IUCN 親善大使をされているイルカさんが2004年から毎年続けてこられた、このコンサートも今年で11回目。11年間参加されているお客様がいました。

ステージのバックが開いているところから富士山が真正面に見える大自然の中でのコンサート会場。今年は堀内孝雄さん、トワ・エ・モアのお二人、小林幸子さん、江原啓之さん、息子さんの神部冬馬さんの豪華な出演者で、懐かしい曲などが披露されると、会場は手拍子で盛り上がっていました。



コンサートの途中で IUCN のメンバー紹介があり、SDCC もジュゴン帽子を被って舞台上がり、ブースの紹介をしました。そのためコンサートの途中なのに、グッズを求める方や署名をしてくださる方たちでブースは賑わいました。お客様からは「久しぶりね。どうして来なかったの」と覚えていてくださり、カンパしてくださいました。帰りの時間の関係から交流会に参加できず残念でしたが、楽しい一日でした。(首都圏 矢敷克子)



おきなわカフェ@大阪豊中市 出前授業報告

8月6日に大阪の豊中市にあるカフェサパナで「おきなわカフェ～辺野古とジュゴンと基地のお話～」と題して、ジュゴンの里ツアーの報告を中心に出前授業を行いました。参加者は10人ほどでしたが、極暑の中、来てくださるだけあって、それぞれ考えやフィールドを持つ熱い方々が参加してくださいました。

後半の意見交流会では、今帰仁出身で、現在、多文化共生などの分野でお仕事をされている方が、うちなんちゅとしての今までの想いや今の情勢の中でのジレンマなどを、素直な言葉で語ってくださり、参加者が辺野古のことをより自分の事として考える機会になりました。

連れてこられていた幼稚園児の男の子は、ジュゴンの話を聞いて、ノートにジュゴンを描いて見せてくれました。壁に貼り付けていたジュゴンや沖縄の写真を見て、一生懸命描いてくれたのだと思います。



小さな会になりましたが、現役世代の参加も多く、子どもから大人までジュゴンや沖縄のことを考え、意見交流を通して視野を広げるいい会になりました。参加者が各々のフィールドに帰って、自分の言葉でジュゴンのことを伝え、広げてくれそうな予感がする出前授業でした。

(関西 正阿彌(しょうあみ) 崇子)



龍宮神の祟り(2) = ~ころむ、ころム~

9月10日、SDCCの沖縄県要請行動を終え帰宅。テレビをつけると、茨城・常総の鬼怒川堤防決壊の凄まじい様子と、自衛隊ヘリによる救助活動を生々しく報道していた。まるで3・11の巨大津波を思い出す、兩台風18号による甚大な被害である。それもこれも、安倍自公政権の暴虐暴走非民主的政治に対する神の怒りか？即ち憲法違反の共謀罪を裁くことさえ出来ない、日本国民に対する神の怒りであり、龍宮神の祟りであろう。

オレオレ詐欺を平気で働く犯罪人組織を退治出来ない日本国民に、一体どの様に救いの手を差し出せばいいのか？SDCCに課せられたテーマは、いよいよと重くなっている。沖縄県民の願いを無視して、政府は「如何なることがあろうと辺野古新基地建設を進める」と公言して憚らない。その様な安倍自公政権に対する神の怒りが異常気象による災害として現われたと言えるのであれば、取るべき道は只一つということになる。龍宮神ジュゴンの古里である大浦湾を護る『国家的正当性』を、鮮明に打ち出すことである。

即ち、安倍自公政権が、国家をあげてジュゴンを保護することをせず、辺野古・大浦湾を埋め立ててジュゴンを絶滅させる行動に出ていることは、天皇制国家にとって、それこそ『神』の怒りをかう暴挙であることを内外に訴えることである。何故なら、天皇の地位を証明する国宝・八咫瓊曲玉こそは、龍宮神ジュゴンの霊力を宿した秘宝だからである。そのような国体を護持する上で、日本人が最も大切にしなければならない『精神文化の象徴であるジュゴン』を、護ることと護らぬことの何方が、『神』の怒りをかわずに済むことなのか？答えは言わずもがなである。

そこで私は、この状況を打開するに資する為に、急ぎ「辺野古旅情」をCDにした。解説を読めばヤマト対ウチナーの龍宮神信仰を巡る対立の歴史が分かる様にした。また「椎の川」と「ジュゴンの歌」を入れ、山原の辺野古の闘いが永く人々の記憶に残るようにと、カップリングした。10月1日発売。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

①んさか通信★ジュゴンの①

わったー自慢の名護市役所

じゅごんの里ツアーで毎回立寄り名護市役所。あの素敵な建造物は1981年に竣工され、この年の日本建築学会で作品賞を受賞しているのです！花ブロックを多用した外観は風通し抜群の造りで「呼吸する建築」をイメージし解放感が抜群！赤とグレーのコンクリートの配色もオシャレで、庭の緑との相性もバッチリなのです。

また国道58号線から見える庁舎の柱には個性豊かなシーサーがポンポンと配置され、なんとその数54体も♪隠れキャラがいて総数56体とも言われています。1体ずつ作り手が違うだけあって十人（匹？）十色、見比べてみると面白い。

それから色彩が似ていると思った今帰仁村の中央公民館も同じ設計団が建築したものでした。こちらの方が1975年の竣工なので先に建てられたようです。床や天井に貝殻で飾り付けがされていて（おそらく地元の子供の作品）アートなものから自分の名前なんてのもあり見ていると笑顔にさせてくれます。

沖縄建物見学もおススメですよ。

（沖縄・小平）



名護市役所



今帰仁村中央公民館



<首都圏>

- ・10/25 (日) 沖縄団結まつり 10時～15時
場所：亀戸中央公園 (東武亀戸線「亀戸水神」駅下車)
- ・10/10(土) 『ピースフェスティバル大和・綾瀬2015』
小田急電鉄・相模鉄道大和駅下車

※首都圏でも関西でも、当日スタッフ募集しています♪

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ☆じゅごん茶話会 10/15 (木)、11/19 (木) 14時～16時
参加費無料 @関西事務所 楽しく交流しています♪
- ・11/3 (火・休) 大阪団結まつり 10時～15時
場所：扇町公園 (地下鉄堺筋線扇町駅、JR 環状線天満駅下車)
- ・11/14-15 大阪バードフェスティバル 9:30～16:30
場所：大阪市立自然史博物館 (長居公園内)

「沖縄・辺野古～ジュゴンの海」 ～牧志 治写真展



辺野古・大浦湾の豊かな自然と、海を守る闘いの記録です。ぜひご覧ください。

※入場無料

日時：10月11日(日) 11時～18時、12日(休) 10時～18時

場所：大田区池上会館展示ホール (東急池上線池上駅下車)

共催：ジュゴン保護キャンペーンセンター、全交南部実行委員会
連絡先：090-4960-4247 (事務局)

ジュゴンマスコット作り、折り紙教室随時開催

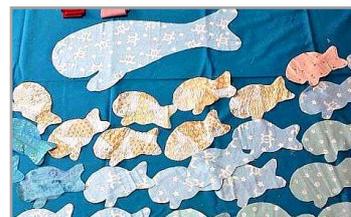
牧志 治さんプロフィール

写真家。辺野古抗議船の船長で、ヘリ基地反対協ダイビングチーム代表。1950年沖縄県コザに生まれ育つ。

2016年 IUCN ハワイ会議に参加します

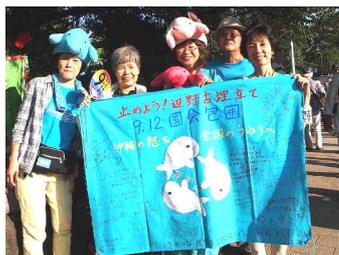
来年の9月1日～10日、IUCN (国際自然保護連合) の第6回世界自然保護会議が、ハワイ、オアフ島で開催されます。ハワイ会議のテーマは Planet at the crossroad—岐路に立つ地球。未来にどんな地球を残すのか、今私たちに問われています。SDCCは、生物多様性豊かな辺野古・大浦湾を守り、ジュゴンと生きる未来を提案します。

ハワイ会議に向けて、ジュゴン保護の思いが世界に届くようにと、小さなジュゴン型の布に、メッセージを集めます。バナーに貼り付けて、たくさんのジュゴンをハワイに連れていけるよう、皆さまのご協力をお願いします。



テント村にバナーを送ろう*

9.12 国会包囲で掲げたバナーを辺野古テント村に送りました！平和の象徴ジュゴンを真ん中に、“沖縄の怒を全国のうねりへ”と書いています。



全国各地から送られてくる「基地はいらない」「ジュゴンを守ろう」などのバナーが結ばれている辺野古の浜のフェンス“NO BASE ギャラリー”最近よく盗られているので、みなさんもぜひ支援のために送ってください！

※送り先〒905-2171 名護市辺野古テント村 宛て

海勢頭豊さんCD新発売！

好評発売中♪

収録曲「辺野古旅情」「椎の川」「ジュゴンの歌」

¥1080円+送料205円

(2枚以上の送料はお問い合わせください)

お問い合わせは、下記SDCC事務所まで。
お申し込みの際は、下記郵便口座に振り込み
お願い致します。

※お名前、ご住所、枚数をお忘れなく

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.82 2015年9月29日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは：ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！